

日本と京都の経済再生へ ～語るつどい～



日本共産党・参議院議員

大門みきし

■日時 **12月5日(土) 午後1時30分～**

(開場：午後1時。終了予定：午後4時30分)

■会場 **国立京都国際会館 1階 ROOM-D**

地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車 徒歩5分(改札から地下通路を通り 出入口4-2)

「アベノミクス」3年。円安に伴う原材料の値上がり、消費税8%への増税が、国民の暮らしと地域経済をきびしい状況に追い込んでいます。さらに、安倍内閣は、憲法違反の「戦争法案」の強行をねらい、2017年には消費税10%への再増税をすすめるようとしています。その一方で、法人税を段階的に20%台へ引き下げ、その減税財源に、赤字中小法人にも課税する「外形標準課税」を2年間で2倍に拡大するとしています。

もうかる大企業には減税する一方で、国民・中小企業には大增税という「アベノミクス」では、格差が広がるばかりです。

「アベノミクス」3年を検証しつつ、日本と京都の経済再生について日本共産党の提言、政策の紹介とあわせ、各界の方々からの提案やご意見をいただき、懇談を重ねたいと考えています。参加は無料です。ぜひご参加ください。

■提案者プロフィール

大門みきし参院議員は、参院予算委員、財政金融委員として、「アベノミクス」の「異次元の金融緩和」の危険性と格差拡大の二極化政策を指摘するとともに、「最低賃金引き上げを中小企業支援とセットで」と提案し、「最賃引き上げはビジネスにも地域経済にも利益になる」とアメリカの経営者も支持表明していることを紹介。安倍首相も「重要な指摘があった。研究しなければならないと思った」と答弁するなど、経済や中小企業問題での多様な論戦には定評があります。

「語るつどい」ご出席者 (日本共産党京都府委員会 FAX 075-256-3649)

お名前		団体・会社名	
役職		電話	
ご住所			

※ご意見・ご提案など